

「はちのこまつり」大成功でしたね！

先週の金曜日は「はちのこまつり」でした。

終わりの会の時にもお話しましたが、6年生をリーダーにみんながいい祭にしようと頑張った成果だと思います。

皆さんは、お店を回る楽しさと、お店をやってお客さんに楽しんでもらう楽しさと両方を味わいましたね。お祭りを巡りながら、お店を盛り上げようと頑張っている一人一人が本当に生き生きと輝いているな！と感じました。

これまで、皆さんは、赤ちゃんのころから、「やってもらおう」「サービスしてもらおう」ことで大きくなってきました。それが、大きくなるに従って、自分の役割を持つようになり、少しずつ「やってあげる」「サービスをする」側になっていきます。その積み重ねが大事なのです。その中で、「自分だけよければいい」という狭い考えから「みんなが笑顔になるために」と、人としての生き方を身に付けていくのです。

「君は自分勝手なんだよ」と、指摘されることがある人はいませんか。たぶん、それは当たっていることが多いと思います。でも、確かに自分は自分勝手だな・・・と、反省することがある人は、自分はみんなの笑顔のために何ができているだろう、みんなのために頑張っている人に「ありがとう」と思っているだろうかと振り返ってみてください。

さて、「みんなのために！」といいましたが、その大切さを示してくれ

ているのが、4つの教育目標の中の「よく働く子」です。これは、単に「働き者になりなさい」という教えではありません。「みんなのために、みんなの笑顔のために頑張れる自分になっていこう」という心を教えてくれているのです。「働く」とは「行動すること」でもあります。「思う」だけでは「働く」にはなりません。少しでもみんなの笑顔のためにと行動できて、はじめて「よく働く子」になるのです。

それを一人一人が一生懸命頑張ったのが、「はちのこまつり」でした。どうですか！みんなが、みんなが笑顔になろうと、一人一人の役割を精一杯、力一杯頑張って、「よく働く子」を実現したら、とっても楽しかったでしょう！誰かがやってくれるだろうとか、やってもらうことばかりでなく、自分から「みんなのために！」と行動していったとき、そこには、楽しい雰囲気ができ、仲間がうまれ、思い出ができます。

先週もあるクラスが、もっとクラスで仲良くなりたいと、学級会で話し合っていました。自分たちのクラスは自分たちで楽しくする、自分たちの学校は自分たちで笑顔を広げていく、一人もさみしい思い、悲しい思いの人は出さないぞという優しさで、これからも、もっともっと楽しい学校をつくっていきましょう。